

(別紙5)

整理番号 2017P-103
補助事業名 平成29年度 自転車の交通マナー対策に資する施設の建築 補助事業
補助事業者名 公益財団法人 自転車駐車場整備センター

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

環境に優しい交通手段として自転車利用が見直されている現在、都市近郊の周辺においては、依然として自転車駐車場が不足しており、自転車利用者が不便を被っているばかりではなく、放置自転車が歩行者や緊急車両等の交通を阻害するといった防災上の問題があるほか、都市空間の適切な利用の妨げや盗難等、都市美観上の問題もあり、大きな社会問題となっている。

このような状況を解決するためには、これらの地域において自転車駐車場の整備を適切に進めることが必要であり、当財団は、この社会的要請に応えるべく設立されたものであるが、補助を受けて優良な自転車駐車場を建設し、かつ、これを利用しやすい料金で一般の利用に供することとなり、公益の増進に寄与するものである

(2) 実施内容

○自転車駐車場の建築 (<https://jitensha.jp>)

・枇杷島駅自転車駐車場

構造：平面式、シェルター、電磁ロック式ラック、スライドラック

整備台数：1,158台

建築面積：452.47㎡

延床面積：859.08㎡



シェルター



定期自動更新機



スライドラック



電磁ロックシステム

(別紙5)

2 予想される事業実施効果

枇杷島駅は、名古屋駅から電車で4分と都市部へのアクセスが非常に良く、通勤・通学者等の駅利用者が多く、自転車利用も大変多い駅である。平成20年には、駅舎建替えを含む駅前再開発事業が行われたことにより、今後の駅前発展や賑わいに伴って更に自転車利用が増える傾向となっている。

当該施設は、当初、市が運営する無料置場であったが、それだけでは収容台数が不足しており、放置自転車が溢れ、また、無料置場のため管理が行き届かず、盗難やいたずらの被害が表面化し、歩行者と自転車等の接触事故も漸次増加しているため、恒久的かつ利便性の高い安心・安全な施設整備が喫緊の行政課題となっていた。

当該駅東口・西口には、再開発事業以前より市営の無料駐車場があり、約1,200台あまり（放置を含む）の実駐車台数となっていた。これらを収容するための受け皿となる施設整備が急務であり、「競輪公益資金による補助金」を活用することで早期整備が可能となり、放置自転車の解消に繋がるなど大きな役割を果たす施設となった。

このことにより、利用者をより安心・安全に新設有料駐車場へ誘導することができ、同駅利用者の増加に伴う駐車場不足へも対応できる環境が整ったことで、駅周辺の美しいまちづくりにも役立ち、良好な都市景観の保持や放置自転車が解消されることによる交通安全の確保など、同市のかかえる課題の解決に向けて大きな効果を発揮するものと期待できる。

3 補助事業に係わる成果物

本事業に係わる印刷物等

- ・自転車駐車場整備センターだより
- ・競輪PR看板
- ・事業概要パンフレット
- ・刊行図書
- ・当財団パンフレット

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名： 公益財団法人 自転車駐車場整備センター

(コウエキザイダンハウジン ジテンシャチュウシャジョウセイビセンター)

住 所： 〒103-0021

東京都中央区日本橋本石町4-6-7

代 表 者： 理事長 小澤 敬市 (リジチョウ オザワ ケイイチ)

担 当 部 署： 企画部 (キカクブ)

担 当 者 名： 主任 山田 智久 (シュニン ヤマダ トモヒサ)

電 話 番 号： 03-6262-5320

F A X： 03-6262-5330

E - m a i l： tyamada@jitensha.jp

U R L： <https://jitensha.jp>